



地区大会 実行委員長 報告

地区大会実行委員会
実行委員長

松澤 佑次

(大阪RC)

本年度地区大会は、水野正人RI会長代理ご夫妻をお迎えし開催いたしました。地区内81各クラブから多数の会員の皆様にご出席をいただき、また、地区内元役員をはじめ、北は北海道、南は九州まで全国各地各ガバナーの皆様にも、ご家族の皆様と共に多数ご出席賜り、誠にありがとうございました。

今回の地区大会は、初日となる12月4日(金)、東京で国際ロータリーの行事「ロータリー研究会」などが執り行われたことから、従来の日目の午後からの行事を省き、夕刻からの「水野正人RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」で幕を開けました。

また、大会2日目の12月5日(土)も、初日に行われていた「家族のつどい」に変えて、午前中のクラシックコンサートからの始まりとなり、例年とは異なるスケジュールとなりました。

今回の企画には立野純三ガバナー、吉川秀隆大阪RC会長、更家悠介地区大会幹事をはじめ多数の委員の皆様と相談し、関西活性化を目指し「大阪・関西」を強調するコンセプトを表に出すことに留意しました。例えばRI会長代理歓迎晩餐会では、大阪産の食材を用いたフランス料理を河内産ワインでの提供、またエンターテインメントには関西二期会の皆様によるオペレッタなどを楽しんでいただきました。

そして、翌日のコンサートでは、当クラブゆかりの

上野製菓様がサポートしている小菅 優のピアノ、庄司紗矢香のヴァイオリン演奏という世界的な音楽家ご二人による夢のデュオが実現しました。地区大会会場の大阪国際会議場メインホールに於いて、午前11時からの開会にも拘わらず、1500人を超えるご参加をいただきました。このコンサートには会員ご家族・招待青少年にも多数ご参加いただきました。

昼食は、会場内での「高麗橋・本吉兆」謹製のお弁当でしたが、実行委員・皆様のご努力下、1500個のお弁当の袋詰め準備と食後の片づけに混乱もなく、午後の式典にスムーズに移ることが出来ました。

立野年度の活動の場となる式典では、RIラビンドラン会長の方針をわかりやすくした立野ガバナーの「変革を! ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を」について具体的な方針が述べられ、水野RI会長代理からもRIの方針を紹介され、また例年通り各委員会の報告がなされました。

続いて、今回の「大阪・関西」活性化の趣旨に則った企画として、本席(ほんじょ) 佑京都大学名誉教授と岸本忠三大阪大学名誉教授による「関西発の医療イノベーションー最先端研究から創薬へ」と題した、究極の職業奉仕のシンポジウムを企画しましたが、お二人から、世界でも類を見ない世界的基礎研究から、癌や免疫難病の特効薬を自ら開発され、既に多くの患者さんの治療に役立てている経験を語っていただき、聴衆の皆様にご感銘を与えていただきました。

この充実した2日間の地区大会にご出席していただいた皆様はもちろん、企画・準備・運営あたり、ご助言をいただいた先達の皆様、及び実行委員の皆様にご心から感謝いたしまして、実行委員長の報告とさせていただきます。

